



# 2回培土 & 雑草防除で生育量確保！ 大雨・長雨時には排水対策で湿害防止！

大豆の生育は、播種後、出芽が順調に揃ったほ場と遅れたほ場があり、生育にはほ場差がみられます。現在、第1回目の培土時期を迎えています。生育量確保・収量アップに向けて、培土作業と雑草対策をしっかりと行いましょう。

また、6月28～29日の大雨では大豆ほ場に停滞水がみられました。大豆は湿害に弱い作物です。明渠の見回り、手直しをおこない、可能な限り速やかにほ場内の停滞水を排水して、ほ場を酸化状態にし、根の活力を回復させるための管理を徹底し



## 1. 中耕・培土は必ず2回実施！

### 1回目の中耕・培土(大豆2～3葉期)

1回目の中耕・培土の土寄せは、子葉が隠れる程度が目安です。雑草の発生が見られる場合は、軽い培土と中耕を行いましょう。

### 2回目の中耕・培土(大豆6～7葉期)

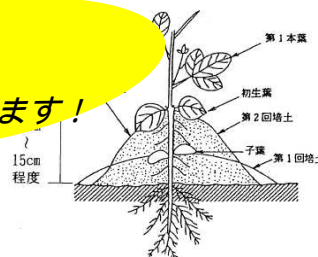
培土の高さの目安は初生葉が隠れる程度です。培土の高さはコンバイン収穫時に泥の掻き込みによる汚損粒の発生を防ぐため15cmまでとしましょう。

第2回の培土に合わせて、追肥を行いましょう。

(LPコート70の場合、20kg/10a)

培土は開花期1週間前(7月下旬)まで終わることが基本です。ただし、開花期に入っても生育量が少なく、培土が行われていないほ場では、施肥とセットで培土を行うことにより、生育量の回復が期待できます。

ほ場確認！  
雑草  
見え始めています！



培土の方法



## 2. 除草剤は大豆の葉令と雑草の種類とサイズを確認！

大豆の生育期に使用できる除草剤を選ぶ際には、雑草の種類(イネ科、広葉)、大豆の葉令、雑草の葉令・草丈等の確認が必要です。時期を失しないよう気を付けましょう。

散布方法は、茎葉処理除草剤では全面散布が可能ですが、畝間処理、畝間株間処理除草剤は専用のノズルでの散布となります。使用基準をしっかりと確認し、適正に使用しましょう。

近年、外国から侵入した「帰化アサガオ類」が大発生し大変な問題になっています！

置賜管内の一部大豆ほ場でも発見されています。

帰化アサガオには、丸葉のものやオレンジの花のものもあります。

はじめは、ほ場周辺から発生することが多いようです。

刈り取る～花が咲いたら直ちに防除・種子を作らせないこと！

- ・地際から刈り取ってください。(再生防止)
- ・刈り取った草を放置しない。(種子は後熟します)

除草剤を使用する



要注意！

マルバルコウ

ホシアサガオ



農作業事故が多発しています！ゆとりある作業計画を！